

本年度の重点目標:「自分で考え、みんなで挑み、やり抜く子ども」の育成 ～自分で みんなで 最後まで～

夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。静かだった校舎に久しぶりに子どもたちの元気な声と笑顔が戻り、大変嬉しく思います。始業式では、合言葉である「自分で、みんなで、最後まで」を常に意識しながら、特に次の2つのことを頑張ってもらいたいと話しました。



1. 行事を通して自分自身を大きく成長させること

運動会や江南フェスタ、長縄大会などの行事をただこなすのではなく、「目標」を立て、どうしたらそれを達成できるか自分で考え、友達と支え合いながら最後までやり抜きましょう。

2. 「当たり前なこと」を当たり前により徹底すること

行事に一生懸命取り組んでいると、つい日頃の「当たり前のこと」がおろそかになりがちです。だからこそ、あいさつ、そうじ、時間を守るなど、改めて大切にしていきたいです。

2学期も子どもたちと教職員全員で力を合わせて取り組んでまいります。保護者・地域の皆様には、引き続きご理解とご支援・ご協力よろしくお願いします。

自然教室 in 英彦山青年の家

4・5年生は7月21日・22日の2日間、英彦山青年の家で自然教室を行いました。フィールドビンゴでは、地図を頼りにグループで協力しながら英彦山の涼しい自然の中を歩きました。夜のキャンドルの集いでは、ろうそくの火を見つめながら一日をじっくり振り返ったり、ゲームで思い切り盛り上がったりと、メリハリのある充実した時間を過ごすことができました。また、初めて挑戦した火起こしは苦勞しましたが、自分たちで起こした火で焼いたマシュマロの味は格別だったようです。夜の部屋でも、友達と楽しそうに遅くまで語り合っていました。

この2日間、子どもたちは仲間と協力して行動することの大切さや難しさを身をもって学んだようです。今回の経験や失敗から得た学びを、これからの学校や家庭での生活に活かしてくれることを期待しています。



キャンドルの集い:女神からの分火



山に向かってみんなでヤッホー



自分達で起こした火でマシュマロを焼く

平和学習

8月6日の出校日に全校で平和学習を行いました。各学年で映像や教材を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さ、そして命の大切さについて学びを深めました。また、6年生が1～5年生の教室を訪れ、修学旅行で学んだことを真剣に後輩たちへ伝える姿に、頼もしさと成長を感じました。

今もなお世界では争いが続き、尊い命が失われています。平和への第一歩は、身近な人を思いやる心から始まります。友達の心を傷つけないこと、互いを思いやり大切にする。みんなが相手を大切にできる、温かい学校を子どもたちと共に築いていきたいです。



修学旅行の学びを伝える6年生

KBC「アサデス。」が江南小にやってきた！

8月6日、KBC テレビ「アサデス。」の「ウワサーチクイズ」コーナーの取材を受けました。「うきは市に『死』『磔(はりつけ)』『刑罰』という歌詞が出てくる小学校の校歌があるらしい」という噂を調べるためです。子どもたちはカメラに向かって元気よく校歌を歌い、代表の6年生もリポーターのはらけんさんの質問にハキハキと答えてくれました。

8月18日に放送された番組を観て、江南小の校歌が「五庄屋」の偉業を伝える歴史的にも素晴らしい歌であることを改めて実感しました。子どもたちが江南小校歌に誇りを持ち、大切に歌い続けてほしいと願っています。

放送後、地域や卒業生の方々から「江南小がTVに出ていて嬉しかった」「久しぶりに校歌が聴けて懐かしかった」といった温かいお声をたくさんいただきました。

当日の放送を見逃した方は、YouTube (KBC 公式チャンネル) で配信されていますので、ぜひご覧ください。



元気よく校歌を歌いました

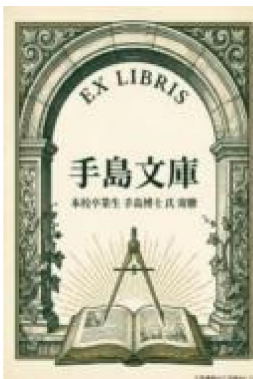


6年生が代表して取材に答えました

卒業生 手島 博士 様より 本のご寄贈をいただきました

このたび、本校卒業生であり、株式会社 手島建築設計事務所 会長の手島 博士 様より、子どもたちの豊かな学びのために「『伝記を読もう』シリーズ」をご寄贈いただきました。図書室に「手島文庫」として設置し、偉人たちの生き方から学べる貴重な本として大切に活用させていただきます。

なお、手島様は現在の江南小学校の校舎を設計された方であり、校長室にある旧校舎の模型もご寄贈いただいております。長年にわたり江南小学校を温かく見守り、深く愛してくださる手島様の思いに、心より深く感謝申し上げます。



寄贈していただいた「伝記を読もう」シリーズの本



校舎模型と手島博士様